

平成 28 年 8 月 20 日

中齋塾フォーラム 10 周年記念講演会 「これから時代はこう変わる」

本日はお足下の悪いなか、中齋塾フォーラム 10 周年記念講演会にお越し下さいまして誠に有難うございます。基調講演をされた木内顧問はとても博識で、色々な事をお聞きしても即座に答えられますから、講演の最初に質疑応答の対話の時間をとれば良かったと反省しております。素晴らしい内容でしたが、同じトーンでお話されていたので、多少眠くなられた方もおられたのではないのでしょうか。(笑)

少し、身体をほぐしましょう。人間は齢をとると頭が固くなるし、身体も硬くなります。私は意識的に自分より一回り、二回り上の方とお付き合いをして氣をつけて見ておりますが、身体の柔らかい方は頭も柔らかいと感じています。皆さんは、ご自分の体力年齢はどれくらいだとお考えですか？

10 代だと思う方？ 20 代、30 代、40 代・・・徐々に増えて参りますね。

二年ほど前、新モンゴル高等学校から講演の依頼を受けて、高校生と大学生を対象に話をして来ました。最初に、自分の体力年齢はいくつくらいだと思うかと聞いて、高校生・大学生に実験をして戴きました。その方法を皆さんに御紹介致します。

先ほど質問をされた柏木さんに御登壇して戴きましょう。柏木さんの体力年齢は 20 代くらいでしょうか・・・前屈して、身体の柔らかさを見ます。身体を曲げて戴いて、手の指が床に着けば 40 代、握りこぶしがつけば 30 代、手の平がつけば 20 代、手のひらがつけば 10 代です。

(柏木様実演)・・・柏木さんは 30 代ですね。

皆さんは如何でしょうか？ ご自分で想像した体力年齢をクリアされておりましたか？ だいたい皆さん、ご自分の体力年齢を過大評価しているものです。時々、自分の体力年齢を見直しされるとよろしいと思っています。

歴史は繰り返す

「これから時代はこう変わる」というタイトルでお話させて戴きますと、私は、〈歴史は繰り返す〉と考えています。では、歴史とはどういうところを見るかと申しますと、終戦直後を考えます。終戦直後はどうだったか・・・。先ず、食べ物がなくなります。ハイパーインフレが起きます。預金封鎖になり、銀行に預けてあるお金は下せなくなります。べらぼうな税金がとられます。原因は別として、こういった事が続けざまに起きて来るだろ

うと私は思っています。

更に、終戦直後は「三等重役」という言葉がありました。「公職追放」という言葉もありました。会長や社長といったトップが追放されて、部長や課長が重役になった時代です。〈歴史は繰り返す〉ですから、今、会社を経営しておられる方は追放されるかもしれません。

そんな馬鹿なことが起こるはずがないと思われるかもしれませんが、現実には日本の国で起きています。同じようなことが、再び起きると考えています。

常識を疑え！

先程、木内顧問が「常識を働かせなさい！」と言われました。常識で判断した場合、銀行に預けてあるお金が使えなくなる、タンス預金も使えなくなる、そんな時代が来るわけではないと思われるでしょう。ならば、その常識を疑いましょうと申し上げています。「これから時代はこう変わる」というのは、日本の終戦後に起きたことがまた同じように起きる、私はそう思っています。ですから、今持っている自分の常識は覆ります。お金は銀行に預けてあるから大丈夫、食べ物はいつもスーパーに行けば手に入る・・・そんな馬鹿なことを信じてはいけません。大震災の後を考えてみましょう。コンビニやスーパーは開けられない、食べ物がない、ガソリンも手に入らない等々、ついこの間、経験したばかりではありませんか。似たようなことが今後起きると思って下さい。

常識というものは棚卸しをしなければいけません。自分が持っている常識は硬くなった常識なのか、それとも柔らかい常識なのか、時々見直しをしなければいけません。今は常識を見直す時代に入ったと思っています。

私は中斎塾フォーラムで話をする時、その日の新聞やテレビ、ネットを見て気になった記事を題材にしています。昨夜テレビを見ておりましたら、「料理の常識を覆す」という内容の番組がありました。私は月に一度、「シェフの日」というのを決めて家内のために料理を作っていますので、関心をもって見ました。そうしましたら、野菜炒めを作るのに弱火でじっくり炒めていました。従来は強火で炒めるのが常識ですが、弱火の方が野菜がシャキシャキして美味しいと試食した人達全員が言っていました。私は陽明学をベースにしておりまして、陽明学は実践の学問ですから、ぜひ試してみたいと思っています。

テレビを見る時でも我々は自分の常識で判断して見るわけですが、自分の常識がどんどん変わって来ると、眼が覚めたようにテレビも見られるし、新聞も読めるし、色々と見方が変わって来ると感じます。

そのキーワードは、これから時代は急転直下で落ちていくということです。特に、東京オリンピックは開催されるかどうか分かりませんが、東京オリンピックが開催された時に

は、その翌年が経済的には不況が来ると思っています。そうなると食べ物は減るでしょうし、もしかするとお金も使えなくなるかもしれません。税金もドーンと上がるかもしれません。

税金に関して申しますと、日本の国はまことしやかに嘘ばかりつきます。例えば、源泉徴収はもともと戦費調達のために出来た仕組みで、戦争が終わったらやめるはずでした。ところが今だに続いています。年金はどうでしょう。これももともとは積立方式で年金をかけて、ある年齢に達したらお返しするという制度でした。ところが途中でそれがなくなってしまって、いつの間にかきちんとした説明もないまま賦課方式に変わってしまいました。民間の保険会社がこんなことをしたら詐欺ですね。厚生年金基金なる制度も、どんどん解散しています。このように一つ一つ見ると、国はかなりいい加減なことをしています。ですから、国がやっていることだから安心・安全だと思うのは間違いです。

今は、自分の常識がこれでよいのかと疑う心を持つ必要があります。常識について時々見直しをするとよろしいでしょう。冒頭お聞きした体力年齢で言えば、自分はまだまだ 20 代・30 代の体力だろうと思っても、実際に確認したら、はるかに高齢の体力だったという人もおられたと思います。

人脈も同じです。論語の中に益友・損友という言葉がありますが、若い時に親しくお付き合いして互いに啓発したり切磋琢磨した友達でも、ずっと続くかということ、なかなか難しい。逆に、若い頃は悪ふざけばかりしていたような友人が、とても良い影響を与えてくれる友達に変わることもあります。ですから時々、友人関係も棚卸しをする必要があります。亡くなったり転居したりして自然と変わる場合もありますが、意識的に五年くらいのサイクルで棚卸しをするのがよいと思っています。

先程、私は月に一度、料理を作ると申しました。それまで「男子、厨房に入らず」という言葉通り、台所に入った事はありませんでしたが、数年前からシェフの日を作っていました。これも常識を変えた一つです。

これから時代はこう変わる

では、レジュメに沿ってお話を致します。「これから時代はこう変わる」、幾つかのキーワードを挙げてお話致します。

一. 日本

日本人の素晴らしさ

昨年九月、木内顧問から、ベルリンで行われる環境問題を話し合う会議で私に話をす

るようお誘いを受けて、ドイツに行ってきました。私が呼ばれた理由は、環境問題について専門家を集めて話し合いをすると、最終的に愛と魂という領域に行き着いて、その先に進まない。そこで、愛と魂について話をしてくれる人を呼ぼう・・・ということになったというのです。私は専門家ではありませんが、環境問題を解決するためには日本の考え方を説明するのが良いと考えて、こう申しました。

「愛と魂を考えるのに、ヨーロッパ文明の人たちには無理があるでしょう。ですが、日本文化に馴染んだ私達には非常に簡単です。なぜなら、ヨーロッパ文明は理屈が先で分析を進める。理屈ばかりを追求しても答えは出ません。日本人は理屈ではなく、感性で分かる国民だからです。日本に来て、伊勢神宮や出雲大社をお参りして下さい。説明するより、感性で感じて戴くのが一番です。ぜひ伊勢神宮に行って、『なにごとのおはしますかは知らねども かたじけなさに涙こぼるる』という感覚を実感してください。」

日本に来れば解決策があると申し上げました。今、たまたま日本人はその感覚が分からなくなっている人が多くなっているけれども、日本人にはそのDNAが脈々と受け継がれていると思っています。

日本の現状

・お金の欠陥・・・通貨の仕組みは終わりです。人類が発明したお金という仕組みは、もうお終い。これからは現金は消滅すると思っています。お金がなくなったら、どういう世界になるか。私は、物々交換だと思っています。

・税金の重圧感・・・終戦直後、国の保証債務を支払うために富裕税という極端な財産税がかけられました。庶民は25%、富裕層は90%もの税金をとられました。奇しくもその財産税を決めた省議には、木内孝顧問のお父様である木内信胤先生も大蔵省終戦連絡部長として参加されておられ、他に池田勇人さん、福田赳夫さん等数人が事を決めて進めていったという記録があります。

私はまた同じようなことが起きると思っています。今、財務省が富裕税の話をちらちらと出していますが、やろうと思っているから言っているのだと思っています。

・食糧の危険性・・・食べ物は旬がよいです。遠い国からわざわざコストをかけて運んで来た物を食べる、そんなことはもう終わりです。世界が理想とするのは日本の江戸時代末期、自給自足の循環型社会ですから、日本がお手本にならねばいけないと考えています。

・安全面の危機・・・噴火・地震・津波、これらは当然起きて当たり前だと思っています。それに加えて、次に説明する世界の所に「鳥の新型インフルエンザ（強毒性）等の感染拡大」と書きました。数年前、日本でも新型インフルエンザの弱毒性が流行りました。

もし強毒性が流行った時には、厚生労働省の発表では64万人が死亡するという数字が出ています。オーストラリアのロウイー研究所の試算では、日本の死亡者数は最大で210万人と予想されています。

そういう観点から申しますと、自然災害は数万人の死者では終わらない。数十万人、数百万人が亡くなると思っています。地球の歴史から見て、文明の過渡期にはそういうことが起きるのも十分有り得ると思っています。ですから、9.11や3.11のような死者が数万人規模の災害は、これから始まる大きな災害の前章であると私は捉えています。おそらく数百万人の規模で亡くなるだろうと思っています。

二、世界

・紛争拡大・・・今、現実起きています。一昨年に大阪で、日本各地で論語塾を開いている先生方が一堂に会して、論語寺子屋サミットという催しが開かれました。そこで、関西で論語の権威である伊與田覚先生がこう言われました。「今は第三次世界大戦が始まりつつあると感じます。ですからここに集まった先生方は、くれぐれも戦争が広がらないように努力して戴きたい」と。伊與田先生は百歳を超えておられ、人生で何度も戦争を体験されておられます。その先生目から見て、第三次世界大戦が始まりつつあると実感されておられるのですから、これは心に刺さりました。

・人口増加・・・今、世界の人口は限度いっぱいに来ています。このまま増え続けると、当然、食糧が不足します。飢え死にする人々は更に増えていくと思います。

・天変地異・鳥新型インフルエンザ・・・先程申しました強毒性の鳥新型インフルエンザが発生した時には、日本でも64万人の人が亡くなるという数字が出ています。生き延びるためには手洗い、抗ウィルスマスク、食糧の備蓄等々、くれぐれも準備を怠らぬよう、どうぞお考え下さい。

三、個人

先程、常識を疑えと申しました。これには、心の拠り所になるものをお持ちになればよろしいでしょう。そうすると常識を疑うことが出来ます。お配りした資料に中齋塾フォーラムの紹介の小冊子が入っています。20ページを御覧戴くと、木内信胤語録が書いてあります。幾つかご紹介します。

○色々な知識を沢山集めても駄目で、魂に突きささる様な、知識を必要程度持たねばならない。

如何でしょうか。ご自分の心にグサッと突き刺さるような知識をどれくらいお持ちでし

ようか。魂に突き刺さるような知識を中斎塾フォーラムでは学んでいます。

○経済を論じ、評価するのに、その基準は「成長率」しか無いのが、ヨーロッパ文明の病根である。

経済学はもう終わっています。今ある経済学は、不必要だと思っています。

○アメリカは大変な勢いで、転落しているんです。しかし、それはまったく新聞に載らない。載らないだけで、本当はどんどん悪くなっています。

平成4年、先生が93歳の時に言われた言葉です。24年も前に木内信胤先生はこう言っておられました。アメリカは悪くなっているということは、誰でもが分かる時代に入っています。

木内信胤先生は亡くなられる前、「これからは予測が必要だ。予測学を作ろうか」と言っておられました。また、「分析ばかりではいけない。これからは総合的直観力が必要だ」とも言われました。中斎塾フォーラムでは、総合的直観力を身に付けるよう研究し、努力し、学んでいます。

○人間てのは、紙一枚でももったいないと思って大事にすると良い。紙一枚でも捨てていると心が荒んでくる。問題はここなんです。

○日本に言論機関はないんです。今の新聞は全部政府迎合です。今の日本は、野党も新聞もあることにしているだけです。

木内信胤先生の言われる通りだと思います。特に最近の新聞は、ヒントとして読むのがよろしいでしょう。今までは、新聞は結構嘘が混じっているから五分五分で読みなさいと言っていました。しかし最近、新聞はヒントをくれると思って読めばよいと思っています。

例えば昨日の日経産業新聞に、東京オリンピックの時の金メダルは、日本で廃棄される小型電子機器で作ることが出来るという記事がありました。平成12年の廃棄物から取れた金の量は143キログラムでした。リオオリンピックの金メダルは、9.6キロあれば足りるそうです。廃棄物からとれた銀は1566キログラムで、メダルに必要な銀は1210キロ。銅は1112トンもとれて、メダルに必要な銅は700キロだそうです。こういう記事はヒントになると思います。

今朝の日経新聞には、小型ロボットの記事がありました。以前、私はハウステンボスにロボットが受付をするホテルがオープンするという記事を見て、オープンしてすぐに家内

と泊りに行きました。受付には恐竜のロボットと女性ロボットがいて、チェックインの手続きはスムーズに出来ました。ただ、宅急便の手配を頼んでみるとロボットでは対応出来ず、後ろから人間が出てきました。技術がどんどん進んでくれば、色々な対応も可能になると思います。これからの時代は、どんどんロボット化が進むでしょう。

四、考え方

・知行合一・・・陽明学のベースに「知行合一」という考え方があります。「知行合一」とは、「知るは行うの始めにして、行うは知るの成れるがなり」です。知っていて行動しないのは、知らないよりたちが悪い。知っているだけで行動をしないのは一知半解、口先人間になってしまいますから、知っていたなら行動に移りなさいということです。陽明学は行動を重視します。行動することによって知識の裏打ちが出来ます。中斎塾フォーラムではそういう勉強をしています。

五、足るを知る

数か月前、ウルグアイの前大統領ホセ・ムヒカさんが来日し、その言動が話題になりました。何事もほどほどが宜しいですね。夫婦関係もほどほどがよろしい。高望みをしないで、ほどほどでゆこう！それが「足るを知る」です。

「これから時代はこう変わる」について、キーワードを挙げてお話致しました。私は「足るを知る」という考え方が日本を救い、人類を救うと考えています。我々中斎塾フォーラムでは、「足るを知る」を基本理念に据えて学びを続けています。

お時間が参りました。ご清聴有難うございました。